

『第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取 森の恵み感謝祭』に 出展しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 鳥取水源林整備事務所

鳥取水源林整備事務所（鳥取県鳥取市）は、平成30年8月11日（土・祝）に開催された『第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取』の歓迎フェスティバル（主催：第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取実行委員会）において、^{だいせん}大山山麓の西伯郡大山町を会場とする、森の恵み感謝祭に出展しました。

本大会は、「山の日」制定を祝って都道府県巡回で開催されている全国行事で、周辺地域で実施されている大山開山1300年祭の一環としても位置付けられた、鳥取県挙げてのイベントです。会場には、林業・環境関係の機関、事業者やNPO団体による展示・体験教室のほか、食品・観光団体による地元農産品の販売などが行われ、58団体が出展、約2500の方が来場する賑わいでした。

当水源林整備事務所のブースでは、木工教室と木の名前当てクイズを行いました。木工教室では、間伐材の円盤に松ぼっくりを接着し、参加者は思い思いに飾り付けをされていました。小学校低学年の親子連れのご家族方が中心で、こだわりの作品を仕上げようと没頭する子供達や、親御さんの方が夢中になるご家族もおられ、傍らで作業方法を教える職員も微笑ましく見守りました。木工教室に参加された皆様には、作品を大切に持ち帰っていただきました。

また、木の名前当てクイズは、ご年配の参加者に好評で、山歩きが趣味のご夫婦など大変詳しい方もおられて、驚かされました。

猛暑や夕立が心配されましたが、大山裾野の高台のため、心地よい風が吹く中での絶好のイベント日和となりました。木工教室では素材の調達場所を尋ねる方が多く、間伐や除伐の意義を絡めて説明することで、都市部の方々にも水源林造成事業を知っていただく契機になったのではないかと思います。

今後もこのようなイベント等の機会を利用して、地域の皆様方をはじめ、より多くの皆様に森林を身近に感じていただき、水源林の重要性や森林整備の必要性等について理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。



木工教室ブースの賑わい



自慢の作品を前に記念撮影（木工教室）



木の名前当てクイズに挑戦
「分かるかな？」



「2018 ミスみどりの女神」竹川智世さん
にも木の名前当てクイズに挑戦して
いただきました。